

**コンクリート有効応力計  
GK-□N-505  
仕様書**

**株式会社東横エルメス  
東亞エルメス株式会社**

2009. 10. 22

## 1. 概要

本器は、コンクリート構造物内に埋設して応力を測定するときに使用します。

## 2. 特長

本器は、測定するコンクリートを内部に充填し、検出器の一部として機能させることにより、見掛けの弾性係数をコンクリートのそれと常に一致させるようにしたものです。

そのことから、以下のような特徴があります。

- (1) 若材令時からの応力を直接測定できます。
- (2) クリープや乾燥収縮の影響がほとんどありません。
- (3) 温度影響をほとんど受けません。
- (4) 引張応力の測定ができます。

## 3. 仕様

型式	GK-□N-505 (□は測定範囲を示す)					
測定範囲(□)(N/mm <sup>2</sup> )	6	10	20	30	36	40
定格出力 (RO)	0.9mV/V以上			1.2 mV/V以上		
定格出力ひずみ	1800 × 10 <sup>-6</sup> st以上			2400 × 10 <sup>-6</sup> st以上		
直線性	±1.0 %RO以内					
ヒステリシス	±1.0 %RO以内					
許容過負荷	120%					
許容温度範囲	-10 ~ +80 °C					
許容耐水圧	0.8 MPa					
最大印加電圧	10 V					
入・出力抵抗	350 Ω ±2%					
絶縁抵抗	DC25Vにて500M Ω 以上					
寸法	50 <sup>□</sup> × L500 (フランジφ80) mm					
質量	約2.2 kg					
ケーブル	S4-5 (0.5mm <sup>2</sup> 4心、シングルシース)					
ケーブル標準長	1 m					

・コンクリート有効応力計の寸法には各種ありますが、その選定の基準は測定対象コンクリートの粗骨材平均粒径の2倍以上が目安となります。

例: 平均粒径が25mmの場合は、GK-□N-505となります。

・極性は、+;圧縮、-;引張です。

・直線性とヒステリシスの数値は、変換部本体のものです。

## 4.外観図

